

都市経済委員会

問 文化事業のあり方については

答 府市文化振興会議の部会として設置したアーツカウンシルが平成25年7月から活動を開始しました。平成25年度は、府市の文化事業の評価と公募型助成金の審査を中心として活動してきましたが、平成26年3月末には事業評価を取りまとめる予定です。平成26年度からは、新たな事業の企画、立案、情報の収集、分析などの活動を拡充していきます。

文化事業に対する大阪市の関わり方や青少年の芸術活動への支援、文楽協会への補助金など、文化事業のあり方については、「文化自由都市、大阪」という大阪市文化振興計画のめざす将来像を見据え、アーツカウンシルの意見も聞きながら検討していきます。

問 天王寺公園の活性化については

答 公園南東部のエントランスエリアにおいて、賑わい創出を図る飲食・物販といった施設の設置・運営を行う「ハード事業」、イベント等の開催やプロモーション活動を行う「ソフト事業」、緑地などの「維持管理事業」を一体として担う事業者を募集しており、夏ごろには事業予定者を決定したいと考えています。民間事業者の募集を機に、動物園、美術館、公園と事業者が連携するマネジメントの仕組みの検討などにより、天王寺公園において一体的な取り組みがなされるよう努力していきます。エントランスエリアの事業者が地域と連携し、「天王寺・阿倍野地区」の集客力・ブランド力向上に貢献するよう、地域団体との連携のあり方についても検討していきます。

また、天王寺公園の無料化については、工事のため夏ごろから慶沢園をはじめ園内の一部区域を閉鎖する状況に

なることを勘案して検討を進めていきます。

他の質疑項目

〔グローバルイノベーション創出支援、老朽危険家屋対策、市営住宅のストック総合活用計画 など〕

建設消防委員会

問 災害時の要援護者支援については

答 平成26年3月末には災害時要援護者避難支援の取り組みの促進策を取りまとめ、「大阪市災害時要援護者避難支援計画(全体計画)」の改訂を進めるとともに、その重要事項を「大阪市地域防災計画」の改訂にも反映します。また、その実効性を高めるために「(仮称)大阪市防災・減災条例」を制定し、大阪市の公助、自主防災組織の共助、要援護者の自助の責務と役割を規定していきます。

また、平常時より区レベルでの要援護者支援に向けた連携体制の整備が必要であり、障がい者団体や社会福祉施設等の地域福祉のネットワークを活用することが、支援活動の促進に寄与するものと考えています。今後、平成28年度までに全地域で、要援護者支援計画及び要援護者名簿を作成し、区役所や関係団体と連携しながら支援活動の促進に取り組んでいきます。

問 南海トラフ大地震に備えた公共インフラの整備については

答 下水道については、老朽管渠の改築・更新にあわせて管渠の耐震化を計画的に進めており、万一の場合にも市民生活や都市活動の早期復旧に資するよう、緊急輸送路に埋設されている管渠や避難場所・要援護者関連施設と下水処理場を直結する管渠等を優先的に耐震化しています。特に、液状化の発生が予想される地域では、下水道管の浮き上がりや沈下等の被害が想定されるため、管渠を改築・更新する際に、

下水道管周囲の土砂に石灰等を添加した改良土で十分に締め固めるなど、液状化防止対策を、順次、実施しています。

橋梁については、耐震化計画に基づき対策を進めてきていますが、今回新たに公表されたマグニチュード9クラスの地震に対しては、大阪市が管理する橋梁のうち、緊急交通路や避難路にかかる258橋を検討が必要な橋梁として選定し、平成26年度に地震動、液状化、津波に対する安全性を検証し、平成27年度より必要な対策を実施していきます。

横断歩道橋については、落下すると災害復旧活動に大きな支障が生じるため、橋脚の根元部分に鋼板を巻く橋脚の補強と、橋脚上端の変位が大きい横断歩道橋について桁が橋脚から落ちないように対策を実施します。

他の質疑項目

〔港湾管理者の一元化の方策としての行政委員会の府市共同設置、帰宅困難者対策、積雪時の消防活動 など〕

交通水道委員会

問 交通・水道両局の南海トラフ巨大地震による地震・津波対策については

答 交通局では、大阪府から南海トラフ巨大地震の被害想定が公表され、市内の津波の高さや浸水範囲の詳細が明らかになったことを受け、津波浸水から地下鉄施設を防護するために必要な検討を行いました。その結果、浸水範囲にある30駅で施設の整備が必要であることが明らかになったため、5年計画で最大100億円を投じて対策を完了させます。駅の出入口の浸水対策については、浸水の高さに対応できる止水扉や止水パネルを整備し、必要に応じて現在の設備を改造・補強します。

また、電気の供給が途絶えても列車が次の駅まで自力で走行することで、乗客が駅から安全に避難できるよう、

約10億円を投じて停電時列車走行用大容量蓄電池を設置します。まずは概ね全線にわたり浸水すると想定されている四つ橋線への設置が必要であると考えていますが、平成26年度に実施する調査の結果を受けて、設置箇所や規模などを決定します。

一方、水道局では、最大震度7の強い揺れにも対応した浄水場の耐震化や配水場の整備拡充を進めており、今後は、水道管路の耐震化のペースアップに取り組むなど、積極的な耐震化策を進めていきます。水道事業者の使命を果たすため、現状の対策を今一度点検し、「大阪市地域防災計画」の改訂にも反映させ、備えを充実していきます。



駅出入口止水扉

問 水道料金等のクレジットカード決済については

答 多くの市民・利用者からクレジットカード決済による支払いを求める要望があったため、そのニーズに応え、支払い方法の選択肢を増やし、利便性の向上を図ることとしました。

クレジットカード払いを選択することにより、利用者にとっては、家計の管理がしやすくなるなどのメリットがあると同時に、水道局にとっても収納の確実性が高まるメリットがあります。

他の質疑項目

〔駅ナカ事業、水道局の平成26年度予算編成の考え方、地下鉄車両への落書き、水道事業の海外展開 など〕

可決した意見書・決議

- 駅無人化問題への対応を求める意見書
- 介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書
(以上2月28日)
- JR大阪駅「大阪ステーションシティ」におけるICT技術の利用実証実験に関する意見書
- 雇用の安定化を求める意見書
(以上3月12日)

会議の詳細な結果は下記の大阪市会ホームページの「会議の結果」をご覧ください。

可決した意見書・決議、議案の修正や附帯決議についても、全文を掲載しています。

本会議録、委員会記録については、後日作成でき次第、大阪市会ホームページの会議録検索システムに掲載するほか、市会図書室(市役所7階)、市立中央図書館などでご覧いただけます。

記録が作成されるまでの間は、大阪市会ホームページで本会議・委員会の録画放映を行っています。

○ 大阪市会ホームページ <http://www.city.osaka.lg.jp/shikai/>



市会図書室

今後の会議日程(5月定例会)

5月2日(金)	午後2時	〈開会〉本会議【当初案件上程】
13日(火)	未定	本会議(一般質問)
14日(水)	未定	本会議(一般質問)【追加案件上程】
15日(木)	午後1時	6 常任委員会(説明、請願書及び陳情書の審査)
19日(月)	午後1時	6 常任委員会(質疑)
20日(火)	午後1時	6 常任委員会(質疑)
21日(水)	午後1時	6 常任委員会(質疑)
26日(月)	午後1時	6 常任委員会(態度決定)
27日(火)	午後2時	本会議【案件議決】
30日(金)	午後2時	本会議【役員改選】〈閉会〉

* 会議日程は予定であり、開会日・開会時間は変更される場合があります。

* 本会議、委員会等はどなたでも直接傍聴することができます。通常、開会予定時刻の30分前から、市役所P1階傍聴受付で受け付けしています。

なお、本会議・委員会等の開会当日は、市役所内でモニター放映も行います。

* あわせて、大阪市会ホームページでは、本会議・委員会当日にライブ中継を行っています。

* 詳しくは市会事務局政策調査担当までお問い合わせいただくか、大阪市会ホームページをご覧ください。